令和8年度　酒田市安全安心な対話の環境づくり事業　対話研修プログラム②

参加費無料



そもそも対話ってなに？

～話せなかった子が話したくなる時～

講師

ADファシリテーター

村井（むらい）　美和子（みわこ）　氏

ダイアローグ実践研究所理事

蓬田（よもぎた）　翔（かける）　氏

ダイアローグ実践研究所理事

佐々（ささ）　百合子（ゆりこ）　氏

※12/18には琢成小でのRJ実践を予定しています。

子どもたちに
会えることを
楽しみにしています。

日時　**令和8年12月19日（土）**
13：30 - 16：30

場所　**教育研修センター**
（酒田市総合文化センター２階２０５室）

対象者
学校教職員・相談員、対人支援に関わる方など　定員20名

申込方法
申込フォームにて事前申し込みが必要です。
申込期限：１２月４日（金）
受講決定者については１２月１４日までにご連絡いたします。

申込フォーム

問合せ：　酒田市教育員会学校教育課（杉山・相馬）　TEL 0234-26-5776
多機能福祉施設こもれび（岡部・久保）　TEL 0234-28-8255

酒田市教育委員会委託事業（受託：多機能福祉施設こもれび）

講師紹介



チームミノタケ

Murai Miwako　村井　美和子



地域精神保健福祉の世界に入って以降30年間、 障害を持つ方や高齢者の方々に関わり続ける。 デンマータのインクルーシブ教育先進校工グモントホイスコーレン留学。帰国後は北欧と日本の福祉を繋ぐ活動をする中、オープンダイアローグに出会う。 フィンランド、ノルウェーにて5回の研修を受ける。精神科クリニック勤務を経て、だれでもが安心して過ごせる場所「マヤッカのいえ」をオープン。精神保健福祉士、介護福祉士、ODNJP主催オープンダイアローグトレーニング基礎コー ス修了。アンティシペーションダイアローグファシリテーター。オープンダイアローグの第一人者・精神科医の森川すいめい氏とペアを組み、豊富な臨床経験を持つ。その現場での対話の取り組みは、ベストセラー書籍『まんがやってみたくなるオープンダイアローグ』にも登場。医療福祉や企業、教育現場等で、対話をベースにした人間関係構築や組織開発の研修を多数担当。



Yomogita Kakeru　蓬田　翔

都内で5年間の営業職を経験した後、デンマークへ。北欧の対話を肌で感じる。帰国後、一般企業でマネジメントに携わり、対話をとおしたマネジメントに興味を持つ。現在は社会福祉士法人に勤務し、DPI専属のフィンランド講師や日本人講師から対話を学んでいる。栃木県在住。キャリアコンサルタント、NPO法人ダイアローグ実践研究所理事、アンティシペーションダイアローグファシリテーター認定コース第一期生。

Sasa Yuriko　佐々　百合子



胎盤剥離により重い障害を負った息子の子育てに悩む中、デンマークのエグモントホイスコーレンに出会う。その後、北欧の対話や対話に基づく民主主義に興味を持ち対話を学び始め、秋田にも対話実践を続けたいと活動している。佐々藤盛特許事務所・弁理士、特定非営利活動法人NA0のたまご代表理事、日本MITベンチャーフォーラム理事、NPO法人ダイアローグ実践研究所理事、アンティシペーションダイアローグファシリテーター認定コース第一期生。著書に、『あなたは、わが子の死を願ったことがありますか？』（現代書館、2016）等がある。